

# 利賀学舎の児童たちが 身近な水辺の生き物と水質を調査しました

令和6年7月12日(金)に南砺市立利賀学舎の3年生児童3名が庄川水系利賀川にて水生生物調査を行い、地域の河川環境について学びました。

この調査は、水質汚濁の影響を受けるカワゲラ類等の水生生物の生息状況を調べ、それらの水生生物を指標として水質を判定するというものです。

はじめに、パックテストを使って科学的に水質を調査しました。パックテストとは、試薬を用いて川の水をパック内で反応させ、測定項目ごと、カードの標準色と照らし合わせて水質を判定するというものです。

雨で流量が  
増えてるね...



利賀川の状況を確認



反応した試薬の色で水質を判定

利賀川のpHは7だ！



水道水と同じくらい  
はっきり底が見えるよ！



利賀川の透視度を確認

今回は前日からの天候不良により利賀川の流量が増加したため、川には入らず、事前に採取した川の水からどんな生物が生息しているのかを調べました。スポイトやピンセットで生物を捕獲し、指標生物に分類しました。

今回の調査では、「ヨコエビ」や「ナミウズムシ」というきれいな水に生息する生物が多く捕獲され、パックテストの水質結果とあわせて、「利賀川はきれいな川」ということがわかりました。



### <見つかった生物>



ヤマトヨコエビ



ナミウズムシ



ウエノヒラタカゲロウ



ヤマナカナガレトビケラ



オナシカワゲラ

きれいな指標の生物ばかりだね！



あいにくの雨でしたが、児童たちは楽しそうに水生生物を探し、講師からの質問に積極的に発言するなどして真剣に調査に取り組み、学びを深めていました。

※令和4,5年度は天候不良により中止